

只見川水系 恋ノ岐川

日程:2008年9月21(日)~23(火)

メンバー:L 菊池、志満、神戸、白土
(記)

天気はいまひとつであったが、山深い沢をじっくり堪能できた。

行程:

9/21(日) 恋ノ岐橋 7:20~9:50 清水沢出合
~15:05 オホコ沢出合(ピバーク)~

9/22(月)オホコ沢出合7:40~12:20 1650m 地点(ピバーク)

9/23(火)1650m 地点~11:30 姫池~12:10 平ヶ岳
~15:30 鳩ノ巣

1/25000 地形図:平ヶ岳、会津駒ヶ岳

9/21(日)

当初の計画では南アルプスの赤石沢に行く予定であった。しかし悪天が予想され転進を余儀なくされた。入山を1日遅らせて、北の方が、天気が比較的安定していると思われるため、恋ノ岐川を転進先とした。前夜のうちに銀山平まで入り、店の軒下にテントを張らせてもらう。翌朝の天気もいまひとつであるが、雨は降っていない。車回収用の自転車を菊池さんに鳩ノ巣にデポし、恋ノ岐橋から入渓する。釣り師が多い沢みたいだが、ひとり早々と下山してきた。今日は釣れていないらしい。しばらく平坦な溪相が続く。淵がいくつか現れ、へつる。この沢はへつりが多い。2段6m、や2段10mの滝が現れるが、ノーザイルで越える。やがて右岸より清水沢が合流する。この右

岸にもいいテン場があるが、先へ進む。両門の滝は右岸側が15m、本流が5m。左岸より入黒沢が合流し、8mナメ滝、その後三角沢が左岸より合流する。15m ナメ滝を越え、1240m地点の右岸にいいテン場あり。3段20m ナメ滝を越え、8m、3m 滝の後に大釜が現れた。3段10m、5mの滝を越えていくと、右岸よりオホコ沢が合流する地点の右岸の高台にいいテン場あり。今日はここまでとする。蒔きもたくさんあり、焚き火で落ち着く。夜には雨足が強まり増水していたが、テン場は安全地帯。

9/22(月)

依然天気は悪くすっきりとしない。綾線に抜けるととき火ができないので、今日も沢で泊まることとする。2段5mを越え、1440m地点の右岸にもいいテン場あり。トイ状10mを越え、5m 滝ではザイルを出した。4段8m、ゴルジュ帯を抜けると1650m地点の右岸高台にいいテン場ある。まだ時間は早いですが、稜線ももう近いので今日はここで泊まることとする。薪を大量に集めて、盛大なたき火となった。



こんな溪相がずっと続く

9/23(日)

今日も天気はすっきりしない。1685m 地点では右岸より 10m 滝が合流し、2 段 6m でザイルを出し、3 段 6m を越えてゆくと 50m の大滝だ。厳しくはないがザイルを出す。やがて流れも細くなり、周りには木イチゴがたわわに実っている。ぼりぼり食べながら沢をつめてゆく。この辺りで会津山岳会パーティーに追いつかれる。沢で会ったのはこのパーティーだけだ。だんだんまわりの稜線も見え始め、藪こぎ 30 分で登山道へ出た。その先には姫池があり、遡行終了。記念写真を撮ったあと、せっかくだからと空身で平ヶ岳の山頂をピストンする。山頂では登山道を登ってきた登山者が 10 人くらいいた。上州武尊、至仏山、燧ヶ岳、会津駒ヶ岳などたくさんの山が見えた。姫池からの下山は菊池さんが先行し、自転車で車の回収に行ってくれるという。ありがたいものだ。残りの 3 人でとぼとぼ下山するが、とても長い。鳩ノ巣に下山後しばらくすると、菊池さんが車に乗って迎えに来てくれた。下山後にさらに自転車こぎは厳しい。

奥只見の沢には初めての遡行だったが、山深くていいところだ。恋ノ岐川はとくに厳しいところもなく、2 泊 3 日でのんびり沢登りをするにはいい沢だ。奥只見湖で成長したイワナやヒメマスが遡上して、釣り師にもうれしい沢のようだ。



大釜を泳ぐ



稜線



姫池